

### NO11 国風文化 平安中期 10～11 世紀前半

#### NO88 国風文化 2005 本

次の文学作品Ⅰ～Ⅲについて古いものから年代順に正しく配列しなさい。

- Ⅰ 伊勢物語
- Ⅱ 紫式部日記
- Ⅲ 栄華物語

正解→醍醐天皇の命→伊勢物語、紫式部は道長の娘、彰子に仕えたがヒント。栄華物語は撰関全盛期を描く。

#### NO89 奈良時代末から平安時代の仏教 2001 本

次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に並び替えよ。

- Ⅰ 最澄によって、比叡山に新たな寺院が開かれた。
- Ⅱ 奥州藤原氏によって、平泉に阿弥陀堂を中心とする寺院が建立された。
- Ⅲ 京中で空也が極楽往生の教えを説き、市聖と称された。

正解→Ⅰ-Ⅲ-Ⅱ Ⅰ弘仁貞観文化、Ⅲ→国風文化、Ⅱ→院政期文化

#### NO90 紀貫之の土佐日記 2003 追試

紀貫之の『土佐日記』に関連した文として正しいものを、次の①～④のうちから選べ。

- ① 『土佐日記』以後、宮廷女性らによって多くの「かな」の日記が作られた。
- ② 紀貫之は、勅撰漢詩集『文華秀麗集』の編集に加わった。
- ③ 紀貫之は、意見封事十二箇条によって、地方政治の混乱などを指摘した。
- ④ 『土佐日記』には、紀貫之が土佐国から東海道を通過して帰京する途中の出来事が書かれている。

正解→①。紀貫之は古今和歌集。意見封事十二箇条は三善清行。東海道は京から関東を結ぶ街道である。

#### NO91 撰関政治期の貴族の生活 2007 追試

撰関政治期の貴族の生活に関連して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 子どもは母方の家で養育されることが多かった。
- ② 男性の正装は直垂や水干であった。
- ③ 物忌や方違などにより日常の行動が制約された。
- ④ 食生活では獣肉を避ける習慣が広まった。

誤文→②。男性の正装は束帯で、その略式が衣冠。直垂と水干は庶民や武士の服装。

#### NO92 陰陽道 2011 追試

撰関時代になると、上級貴族は、(a)京近郊や畿内近国の寺社に参詣するなどのほかは、基本的に都で暮らしていた。ときには、忌むべき方角を避けて移動する【ウ】を行ったが、それでも上級貴族たちの行動範囲は広くない。その一方で、彼らは遠い所から平安京に集まってくる物の流れを把握していた。たとえば、中国の商人がもたらす絹織物、陶磁器や香料などは、【エ】とよばれて珍重された。

中級貴族は、受領になると、家族をともなって都と任国を行き来した。『更科日記』には、

菅原孝標の娘が、父の任国である上総国から(b)京まで旅をしたときの様子が描かれている。

問 空欄【ア】【イ】に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ウ 方違 エ 唐物
- ② ウ 方違 エ 蔵物
- ③ ウ 庚申 エ 唐物
- ④ ウ 庚申 エ 蔵物

正解→①。教科書 78 頁脚注②参照せよ。

#### NO93 京近郊の寺院 2011 追試

京近郊の寺院に関して述べた次の文 XY について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

- X 藤原道長は、六勝寺の一つである法勝寺を建立した。
- Y 藤原頼通は、平等院の阿弥陀堂を建立した。

- ① X 正 Y 正
- ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正
- ④ X 誤 Y 誤

正解→

#### NO93 平安時代の仏教 2016 本

平安時代の仏教について述べた次の文 XY と、それに該当する語句 a・d の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

- X 唐に渡って密教を学び、帰国後、天台宗の密教化を進めた。
- Y 念仏による極楽往生の教えを説いた書で、源信（恵心僧都）が著した。
- a 玄昉
- b 円珍
- c 『往生要集』
- d 『日本往生極楽記』

- ① X-a Y-c
- ② X-a Y-d
- ③ X-b Y-c
- ④ X-b Y-d

正解→

#### NO94 平安時代の情報 2000 追試

次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に並び替えよ。

- Ⅰ 藤原道長の栄華を中心として歴史を描き出す、『栄花物語』が編まれた。
- Ⅱ 令の解釈を統一し、政府による公式解釈を示すために『令義解』が編纂された。
- Ⅲ 源信が『往生要集』を著し、慶滋保胤が『日本往生極楽記』を編纂した。

正解→ Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ

- Ⅱ『令義解』は平安初期に編纂された。
- Ⅲ『往生要集』『日本往生極楽記』は平安中期に書かれた。
- Ⅰ『栄花物語』は平安末期に書かれた。

### 国風文化

国風文化の特徴

①唐文化を国風に消化した貴族文化→遣唐使の廃止（894年）と仮名の普及が背景

②貴族の間で浄土教の流行→社会不安を背景に

### 仏教

#### 浄土教の発展が POINT

浄土信仰 10世紀3人組をおさえる。

① 空也：通称「市聖」

10世紀から11世紀、日本独特の文学や美術が数多くつくられ、貴族文学の→国風文化が発達した。

万葉がなの草書体を簡略化したのが 平がな である。



### 古今和歌集

醍醐天皇の命により905年に完成した最初の勅撰和歌集。撰者→紀貫之

古今和歌集から新古今和歌集までの勅撰和歌集を 八代集 という。

伝説を題材にした『竹取物語』や歌物語の『伊勢物語』がある。

### 源氏物語

源氏物語の作者紫式部は、藤原道長の娘 彰子 に仕えた。

### 枕草子

作者清少納言は、一条天皇の皇后であり藤原道隆の娘である 定子 に仕えた。

古今和歌集の編者の一人である 紀貫之 は土佐から京都までの紀行文である『土佐日記』を著した。

..蜻蛉..日記=藤原道綱の母は、藤原兼家との生活を綴っている。

..更級..日記=菅原孝標の娘は、貴族の娘の回顧録

撰関全盛期を題材とした歴史物語の『栄華物語』は、これまでの正史と同じ編年体で書かれている。

### 浄土の信仰

天照大神→大日如来の化身とされた。

本地垂迹説とは、神は仏が仮に形をかえてこの世にあらわれたもの、すなわち 権現 とする思想である。日本の神様はインドの仏様だった。

### 御霊信仰

御霊会の流行。政治的敗者が怨霊となって祟るのを防ぐため怨霊や疫神を祀って疫病や飢饉等から逃れようとした。863年、朝廷は平安京内の神泉苑で早良親王をまつる 御霊会 を行ったのが最初である。

現在、京都で7月に行われる 祇園祭 は、八坂神社の御霊会の流れを汲む祭事であるは、京都大で出た。後醍醐天皇の怨霊を鎮めるため 天龍寺 が建立され、平将門の怨霊を鎮めるため 神田明神 が建立された。最も著名なのが、菅原道真を祀る 北野天満宮 である。早稲田大で出た。



### 浄土教

密教が 現世利益 を願うのに対し、浄土教は、阿弥陀如来 を信仰して来世での極楽往生を願う信仰。 末法思想 の流行が拍車をかける。末法思想とは、一つの終末思想で、

釈迦が亡くなったのち、正法・像法・末法と世の中が展開し、末法には仏法が衰退するとされた。関西大

10世紀半ばに 空也 が出た。民間で念仏行脚している姿から 市の聖 とも言われた。六波羅蜜寺の空也像は鎌倉時代中期の 康勝 の作品である。

次いで、源信 が出て『往生要集』を著した。

10世紀の末、慶滋保胤 が『日本往生極楽記』を著した。

浄土教が流行したといっても天台・真言密教が圧倒的に支持されていたことを記憶したい。

### 国風美術

#### 寝殿造

貴族の住宅は 白木造・椀皮葺の 寝殿造 がつくられるようになった。屏風や障子に日本の風景を題材とした 大和絵 が描かれた。大和絵の初期の代表的作家は 巨勢金岡 である。 蒔絵！絵ではなく工芸品！

### 三蹟

藤原行成 は 小野道風、藤原佐理とともに 三蹟 と呼ばれた能書家である。

藤原佐理=『離洛帖』小野道風=『屏風土代』

### 法成寺

藤原道長 が創建したこの寺院、現存していないが問題はよく出る。 法成寺 の無量寿院で阿弥陀像の手から引かせた糸を握って臨終を迎えたという。

### 平等院鳳凰堂



藤原頼通 が1052年、宇治の別荘を寺としたもの。頼通が 宇治殿 と呼ばれ定朝作 阿弥陀如来像 が阿弥陀堂である鳳凰堂に安置される。

### 定朝

定朝工房が 寄木造（分業による造像）の仏像を製作した。定朝の様式は円派・院派・慶派に受け継がれる。特に慶派は康慶から子の 運慶、弟子の快慶、孫の湛慶へとつながるので流れを理解したい。その他藤原氏支流の日野

氏が建立した 法界寺 阿弥陀堂や阿弥陀如来像も残っている。

### 聖衆来迎図

来迎図 は、往生を願う人々の臨終に際し、阿弥陀如来が多くの菩薩を従えて迎えにくる様子を描いた。弘仁・貞観文化の 曼荼羅 との比較。国風では来迎図。

### 貴族の生活

男性貴族は正装として 束帯・衣冠を着用し手には 笏 をもって威儀を整えた。また貴族の衣服は 絹 を用い、仏教の影響で 獣肉 を食べないことが2015センターで出た。女性貴族の正装は唐衣や裳をつけた 女房装束 で 十二単 とも呼ばれた。庶民の衣服の直垂や水干なども絵で確認したい。

### 年中行事

神事として6月と12月晦日に 大祓、吉凶判断は 陰陽五行説 にもとづく 陰陽道 が広まった。ひきこもって行動を慎む 物忌 や凶の方角を避けて行動する 方違 などの禁忌があった。 陰陽寮 でつくられ、その日の干支や吉凶を記載した暦を 具注暦 という。具注=記載事項【暦注】が詳細に入っていること。